

MODERN KAMAKURA
AS SEEN BY FEMALE
STUDENTS

― 田辺新之助と鎌倉女学校 ―

女学生がみた 近代の鎌倉

生徒による特別展示

知られざる鎌倉の姿
～わたしたちが見た鎌倉～

同時
開催

2024

12
・
14

SAT

2025

3
・
1

SAT

主催
鎌倉歴史文化交流館（鎌倉市教育委員会）
学校法人 鎌倉女学院

開催時間 / 10時～16時（入館は15時30分まで）
休館日 / 日曜・祝日・休日・年末年始

観覧料 / 〔一般〕400〔300〕円（小・中学生）150〔100〕円※
住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1
アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分
電話 / 046717318501 FAX / 046717318545
Eメール / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※「」内は20名以上団体料金 *本料金本館平常展示もご覧いただけます。
*身体障がい者手帳の交付を受けた方と付添1名 鎌倉市に通学している小・中学生及び市内
在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証カード等を提示してください。

鎌倉歴史文化交流館

Kamakura Museum of History and Culture



MODERN KAMAKURA
AS SEEN BY FEMALE
STUDENTS

女学生がみた 近代の鎌倉

— 田辺新之助と鎌倉女学校 —

明治時代以降、鎌倉は保養地や別荘地、観光地として発展しました。鎌倉の歴史・文化を守りながら、その発展を支えたのは、鎌倉に移り住んだ文化人たちです。中でも、漢学者・教育者である田辺新之助は、鎌倉女学校（現・鎌倉女学院）を創設し、鎌倉同人会が建立した史跡碑の撰文を手掛けるなど、鎌倉の文化的・教育的発展に大きく貢献した人物です。明治・大正・昭和という時代を鎌倉の発展と共に歩んできた鎌倉女学院には、田辺の女子教育観や文化人たちとの交流、女学生たちの学校生活を伝える資料が遺されています。

本展では、鎌倉の都市としての新たな歩みを、当時の女学生の視点から紹介するとともに、鎌倉の女子教育に尽力した田辺新之助の足跡を辿ります。また、学校生徒による特別展示「知られざる鎌倉の姿」わたしたちが見た鎌倉」も併せて開催いたします。



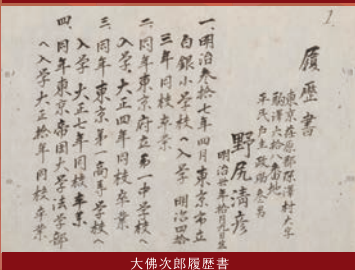
田辺新之助肖像画



学級日誌



テニスラケット

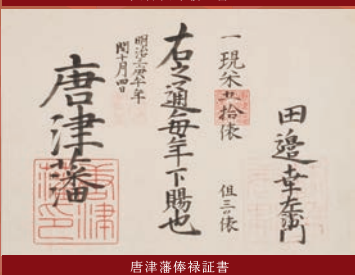


大佛次郎履歴書



校服（複製）

額「真執手沈著」



唐津藩俵禄証書

※所蔵はすべて鎌倉女学院

◆ 講演会 ◆
女学生がみた
近代の鎌倉

開催日時 令和6年(2024)12月22日(日)
13:00~15:40(開場 12:30)

開催場所 鎌倉女学院 陸奥ホール

定員 50名・参加費無料 ※応募者多数の場合は抽選

講師 袴田潤一(松坡文庫研究会代表)
「漢詩人 田辺松坡」
金子智哉(国立公文書館上席公文書専門官)
「近代鎌倉と歴史遺産
— 関東大震災からの復興 —」

研究発表 渡邊希来(鎌倉女学院高等学校1年生)
「鎌倉を世界に広めた一冊の本
~ 陸奥イソとKamakura Fact and Legend ~」

募集期間 12月1日(日)~10日(火)必着

申込方法 電子申請 e-kamakura または 往復はがき
(催し名、住所、氏名、連絡先)

鎌倉歴史文化交流館

開催期間 / 令和6年(2024)12月14日(土)~令和7年(2025)3月1日(土)

開館時間 / 10時~16時(入館は15時30分まで)

休館日 / 日曜・祝日・休日・年末年始

観覧料 / 〔一般〕400〔300〕円〔小・中学生〕150〔100〕円*

住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

T E L / 0467-73-8501 F A X / 0467-73-8545

Eメール / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※〔〕内は20名以上団体料金 *本料金で本館平常展示もご覧いただけます。

*身体障がい者手帳の交付を受けた方と付き添い1名、鎌倉市に通学している小学生~大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

*一般用の駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。 *障がい者等用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。

